

平成31年度（2019年度）新規研究課題

課題番号：1

課題名：山口県における新規就農者（自営就農者）の就農実態、
課題の解明

研究期間：2019～2021年度

研究担当：経営高度化研究室

1 研究の背景

山口県では「日本一の担い手支援」を掲げ、県内外からの農業参入者の確保・定着を支援している。近年、自営農業を開始する新規就農者¹⁾（以下、「就農者」という。）は増加しており、より多くの就農者を確保するには効率的な募集が必要である。

一方、就農者の中には円滑な経営確立ができていないケースも発生しており、就農後の円滑な経営確立に向け、より効果的な支援が求められている。

2 目的

本県における就農者の確保・定着の円滑化を図るため、募集から経営確立に至るプロセスの実態や問題点を明らかにし、対策を検討する。

3 研究内容

県内就農者および就農支援者・組織を対象に次の調査を行い、就農者の確保・定着に向けた課題点や支援のポイントを体系的に整理する。

- (1) 就農実態、支援利用状況等の分析（就農者へのアンケート）
- (2) 経営確立過程の実態・課題分析（就農者へのヒアリング）
- (3) 支援の実態・課題分析（就農者および支援者・組織へのヒアリング）

4 研究のポイント

就農者の募集から経営確立に至る実態や、経営確立上の課題・対策を明らかにすることで、就農者の確保・定着の円滑化を支援できる。

また、就農者支援の効果や支援実施上の課題を明らかにすることで、就農者の経営発展段階に応じた効果的な支援策づくりに活用できる。

脚注 1) この研究では、農業に新たに携わる就業者のうち、自ら農業経営を開始する者を「新規就農者」と定義し、農業法人等へ就職するいわゆる「雇用就農者」とは区別して取り扱う。

山口県における新規就農者（自営就農者）の就農実態、課題の解明

研究期間：2019～2021年度

研究担当：経営高度化研究室

県内の新規就農者をめぐる情勢

- 山口県では「日本一の担い手支援」を掲げ、農業参入者の確保・定着を支援
- 近年、自営農業を開始する新規就農者（以下、「就農者」という。）は増加
【2017年度 新規就農者数 62人】
- 就農者の中には円滑な経営確立ができていないケースも発生

就農者の効率的な確保、円滑な経営確立に向けた効果的な支援が必要

研究のねらい

本県における就農者の確保・定着の円滑化を図るため、募集から経営確立に至るプロセスの実態や問題点等を明らかにし、対策を検討する。

研究のアプローチ

研究① 就農及び支援利用状況等の分析

＜就農者へのアンケート調査＞

- 就農までの経緯
- 経営状況
(規模、品目、業績、労働力等の変化)
- 支援の利用状況
- 経営上の課題
… 等

研究② 経営確立過程の実態・課題分析

＜就農者へのヒアリング＞

- 経営確立過程の実態および問題点
(経営確立の状況、経営資源やスキルの獲得状況、経営確立上の課題)
… 等

研究③ 支援の実態・課題分析

＜就農者および支援者へのヒアリング＞

- 支援利用の実態、効果と課題
- 就農者、支援者・組織、地域の関係性
… 等

就農者確保、経営確立に向けた課題、対策の整理・提示

研究のポイント

- ・就農者の就農実態や、経営確立上の課題・対策を明らかにすることで、就農者確保・定着の円滑化を支援
- ・就農者支援の効果や支援実施上の課題を明らかにすることで、就農者の経営発展段階に応じた効果的な支援策づくりに活用

